

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第88号

2010年9月

やどりき水源林ニュース

発行 (財) かながわトラスとみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

残暑厳しい中にも秋の兆しが



記録的な暑さが続く中、山の中なら少しは涼しいだろうと期待して沢をのぼってみました。7月末以降9月に入っても雨らしい雨は降っていませんが、水量は豊富です。これぞまさに水源林の恵です。岩をたいて下る水音を聞いていると爽快な気分になります。下界ではまだ真夏の様相なのに、あちらこちらに秋の兆しが見られました。



センニンソウ



ウワミズザクラ



キオン



サルナシ



ビランジ



ミヤマアカネ

「やどりき水源林のつどい」が開催されました。



昨年までは10月に開催されていた恒例の行事ですが、今年には子供たちの夏休みに合わせて8月21日に開催されました。「水源林・森林再生パートナー」や「定着型ボランティア」等で水源の森林づくりにご協力いただいている方々をはじめ、大勢の皆さんにご参加いただきました。午前中はトレッキング・水生生物観察、昼休みには草笛や寄祭囃子の演奏、午後は森林交流会でクラフト、丸太切り、ビンゴゲームなどで、楽しいひと時を過ごしました。



パートナー林の説明を聞く



どんな生き物が見つかったかな？



オハヤシ・キッズによる寄祭囃子



ビンゴ大会は景品がいっぱい



パパと一緒に丸太切り



水源かん養機能の実験

9月のトピックス

「かながわ森林塾 演習林実習コース」の実習が行われています。

神奈川県では森林整備量の増大等に対応した森林労働力の量的・質的確保が必要となっています。そこで、さまざまな技術レベルに応じた、担い手育成の研修機関として「かながわ森林塾」を開校しています。「演習林実習コース」では森林整備などの仕事に従事したい人を対象とし、基礎技術の習得や体力の向上

などを目的とし、6か月間に80日の実習・座学が行われるとのことでした。塾生からの質問と講師の的確な指示が飛び交い、活気がみなぎっていました。

取材にご協力、ありがとうございました。(県ホームページ引用)



始業前、刈り払い機の目立て



下草刈り

10月の水源林

実りの秋本番です。多くの果実が赤や紫などさまざまに色づきます。これは「熟したので食べて(種子を運んで)ちょうだい」の合図ともいえます。子孫を残すための巧妙な仕組みを観察しましょう。